

エ<事例名>

--

ア<事例の概要>

- ・小学校4年生男子A。家族構成は、父、母、Aの3人。
- ・小3の1学期、友達がドッジボールをしていたとき、「仲間に入れてほしい」と言えないAは、そばでずっと立っていた。Aと仲のよい男子Bが誘ったところ、Aもドッジボールに参加できた。
- ・Aが裸足のまま廊下で泣いていたことがあった。他の男児が間違えてAの上履きを履いていることに気付いた担任が、Aに上履きを渡すと、Aは落ち着いた。
- ・小3の2学期、Aは朝の会でのスピーチで言い間違いをして、そのまま黙ってしまった。その日はクラスメートとほとんど会話をすることなく過ごし、翌日から欠席が多くなった。(3年生：欠席146日、遅刻19日、早退15日)
- ・小4の初日、Aは通学団での登校ができず母親に車で送ってもらい、なんとか学校の駐車場まで来ることができた。新担任が駐車場まで行き、Aに笑顔で挨拶をして会話を試みたが、Aは車のシートの陰に隠れて車から降りなかった。その後の登下校も、母親が車で送り迎えをしている。
- ・Aは教室に入ることを拒み、友達との関わりも避けようとする。教員に問われたことに対してうなずくか、首をひねるだけの反応しかしない。
- ・Aは、教室に行こうと担任が誘うと、落ち着きがなくなったり泣きだしたりする。

イ<事例を見立てる>

--

ウ<対応を考える>

- ① 「
・
・
」
- ② 「
・
・
」
- ③ 「
・
・
」